

第135回

川崎市定期能

宴シリーズ第一弾

華やき、悲しみ、駆け引き――

能に映し出される「宴」のさまざま

第一部

12時30分開場
13時00分開演

仕舞 鶉之段 友枝 昭世 (喜多流)

狂言 雷 三宅 右矩 (和泉流)

能 六浦 中村 邦生 (喜多流)



能「六浦」中村邦生 (国立能楽堂提供)

第二部

15時00分開場
15時30分開演

狂言 長光 三宅 近成 (和泉流)

能 枕慈童 香川 靖嗣 (喜多流)



能「枕慈童」中村邦生 (国立能楽堂提供)

2025年8月9日 土

会場：川崎能楽堂

入場料 (全席指定)：各部 正面席 5,000円、脇正面・中正面席 4,500円 | U25 3,000円※

●チケット発売 2025年 6月30日 10:00より発売

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。
25歳以下の方。

販売方法 ※取扱い座席は 全て共通	電話申込	① 川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 (10:00~17:00、水曜定休日) ② カンフェティ TEL.050-3092-0051 (平日10:00~17:00) *②は席種のみ指定可。座席選択はできません。 *①・②共にセブンイレブンでの支払・受取です。別途システム利用料、決済手数料、発券手数料が掛かります。
	インターネット 申込	カンフェティ GETTIIS https://www.confetti-web.com/@/kbz_noh135 *支払は、クレジット決済、セブンイレブン支払が選択できます。 *チケット受取は、セブンイレブン受取、チケットれすQ (電子チケット) が選択できます。 *別途システム利用料、決済手数料、発券手数料が掛かります。
	窓口申込 ※7月1日から	川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37 (10:00 ~ 17:00、水曜定休日) *残数があれば 7月1日(火) 10:00より販売いたします。 *支払いは現金のみになります。



〈カンフェティ〉



公演の詳細は
こちら

主催：公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー 5階 電話. 044-272-7366 FAX. 044-544-9647

後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、都合により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

定期能をより楽しむための 事前講座

【 能「六浦」「枕慈童」の背景にある歴史や世界観など、
その奥深い魅力を探ります。 】

日時：8月3日 13:30から (90分~120分予定)

会場：アートガーデンかわさき第1展示室
(JR川崎駅北口直結)

講師：友枝真也 (喜多流シテ方楽師)
中野顕正 (鶴見大学准教授)

料金
無料



事前講座
申込フォーム

*第135回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。 *受講をご希望の方はチケットご購入の際にお申し出いただくか申込フォームよりお申込みください。

第一部

13時00分開演(12時30分開場)

14時45分頃終演

仕舞 鵜之段

友枝 昭世

地謡

友枝 真也
金子敬一郎
狩野 了
佐々木多門

狂言 雷

シテ 雷 三宅 右矩

アド 医者 三宅 近成

能 六浦

前シテ 里女
後シテ 楓の精

中村 邦生

ワキ 旅僧 大日方 寛
ワキツレ 從僧 渡部 葵

大鼓 柿原 孝則 太鼓 小寺真佐人
小鼓 森 貴史 笛 栗林 祐輔

アイ 六浦所の者 高澤 祐介

覺見 内田 成信
佐々木多門

地謡 狩野 祐一 友枝 雄人
金子敬一郎 長島 茂
友枝 真也 狩野 了

◇ あらすじ

狂言 雷 (かみなり)

數医者(アド)が都では誰も治療に来てくれないので、東国でひと稼ぎしようと武蔵野にやって来ると、広い野原で雷に見舞われます。逃げまどっている雷(シテ)が現れて、腰を打ったと苦しむので、医者が針治療をしますが、雷は痛がつて騒ぎます。治療の甲斐あって腰も治り、喜んだ雷はたちまち雲海に帰ろうとします。医者はあわてて治療費を要求しますが、雷にはお金の持ち合わせがなく……。

能 六浦 (むつら)

秋の季節、都の僧(ワキ)が東国行脚の途中、相模国の六浦に着き、称名寺に立ち寄ることにします。山々の紅葉が盛りのなか、本堂の庭にある一本の立派な楓だけが、一葉も紅葉していません。不審に思っていると、一人の女(前シテ)が現われます。この楓のことを尋ねると、そのわけを語って聞かせます。昔、鎌倉の中納言が相模の寺に紅葉を見に来たとき、山々の木はまだ紅葉していないのに、この木一本だけが色濃く紅葉していたので、一首の詩を詠じたところ、楓の木はそれを名譽として身を退くこととし、その後紅葉することをやめたのだと語り、その女は自分がこの楓の精であると告げ消え失せます。(中人)

その夜、僧が読経していると、楓の精(後シテ)が現われ、草木国土悉皆成仏の仏徳を讃え、舞を舞います。そして、夜明けとともに消えてゆきます。

第二部

15時30分開演(15時00分開場)

16時45分頃終演

狂言 長光

シテ 三宅 近成

アド 遠国の者 三宅 右矩
小アド 目代 前田 晃一

能 枕慈童

シテ 慈童 香川 靖嗣

ワキ 勅使 大日方 寛
ワキツレ 從臣 御厨 誠吾

大鼓 柿原 孝則 太鼓 小寺真佐人
小鼓 森 貴史 笛 栗林 祐輔

◇ あらすじ

狂言 長光 (ながみつ)

男(アド)が訴訟の用件も無事に済み、故郷への土産を買いに市場へ出かれます。賑やかな市を見物して歩いていると、馴れ馴れしく髭の男(シテ)が近づいてきます。そればかりか男が手に持った太刀を盗もうとします。怒った男が人を呼ぶと、髭の男も同じく人を呼びます。駆けつけた目代(小アド)に男が事情を話せば、髭の男も盗み聞きして自分の物だと強く言い張ります。しかし太刀についての様々な質問に答えるうちに……。

宴 シリーズ公演回

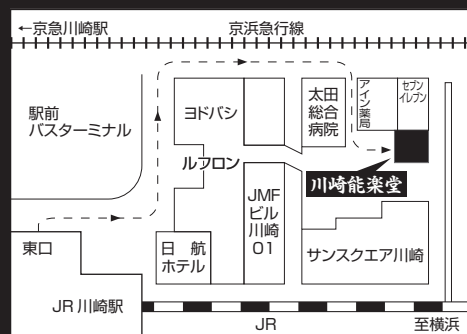
能 枕慈童 (まくらじどう)

古代中国、魏と呼ばれた国の文帝の頃、酈縣山の麓から霊水が流れ出るというので、勅使(ワキ)が源を尋ねるべく、その山に赴きます。勅使の一行は、菊の花の咲き乱れた山中の庵に、一人の不思議な少年を見つけます。少年に尋ねると、「私は周の穆王に仕えていた慈童です」と答えます。勅使は「周というのはもう数代も前の世だ」と驚きます。話を聞くと、彼は、穆王に召し使われていたが、あやまって王の枕をまたぎ、その罰でこの山に流されたと明かします。その後、少年に悪意のないことを知った王が、その枕に二句の文を書きそえて与えたということでした。その妙文を菊の葉に写して流れに浮かべると、葉からのしずくが不老不死の薬となって、これを飲んで生き続けていたのです。慈童は枕の妙文を讀んで楽しく舞を舞った後、帝に長寿を授け、そのまま山中の仙家へと帰っていきます。

2025年度の「宴」シリーズでは、年間3公演を通して、能に映し出される「宴」の諸相をお届けします。

第一弾では「枕慈童」を上演。事前講座では、曲中に登場する菊や菊酒の文化的背景を紐解きます。

川崎能楽堂 座席表(148席)



JR川崎駅東口より徒歩5分
■ アクセス (JR川崎駅まで)
品川駅より約9分 | 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂 (9:00~17:00 ※水曜定休日)
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL. 044-222-7995 FAX. 044-222-1995



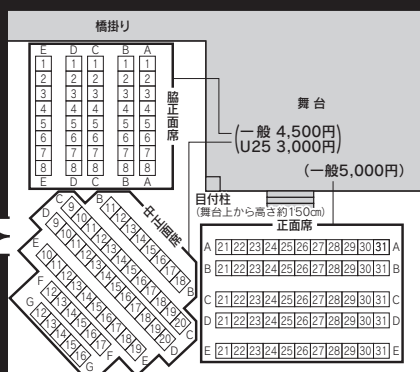
川崎能楽堂 次回公演のお知らせ

第一七回 狂言全集
開催日: 2025年10月25日(土)
出演: 山本東次郎 ほか
チケット発売: 9月29日(月) 予定

第一六回 川崎市定期能(観世流梅若会)
(宴シリーズ第二弾)
開催日: 2025年12月13日(土)
演出: 井筒角当行雄「紅葉狩」角当直隆 ほか
チケット発売: 10月下旬 予定

第三七回 川崎市定期能(観世流)
(宴シリーズ第三弾)
開催日: 2026年3月14日(土)
演出: 「俊寛」観世恭秀「千手」田邊哲久 ほか
チケット発売: 2026年1月下旬 予定

※都合により日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。



*U25券は脇正面席・中正面席のみ選択可。
購入時に身分証明書をお持ちください。
*C列、E列は前の列より一段高くなっています。
*中正面席の前には目付柱(舞台上から高さ約150cm)があり、座席によっては少し見えにくい場合がございます。